

# 新治中部地区

新治中部地区別計画推進委員会

**地域** 台村町、森の台、寺山町、中山町、中山1~4丁目、上山1~3丁目

明治41年横浜線開通と同時に中山駅が開業し、駅周辺に市街地が形成されました。現在も中山駅を中心に緑区総合庁舎や警察署などの行政機関、福祉保健施設があり、駅前には商店街などの商業施設があります。また、横浜市営地下鉄グリーンラインが平成20年3月開通しました。

一方、南側には県立四季の森公園や長坂谷公園があり、緑豊かな環境となっています。

### <主な関連施設>

最寄駅：中山駅（JR横浜線・横浜市営地下鉄グリーンライン）

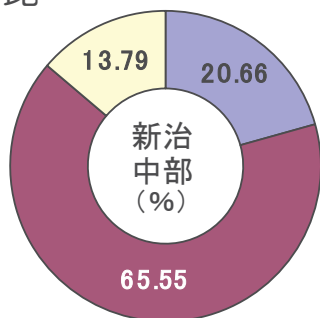
震災時避難場所（地域防災拠点）：上山小学校、中山小学校、中山中学校、森の台小学校

地域ケアプラザ等：横浜市中山地域ケアプラザ

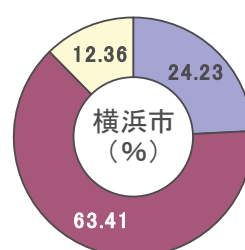
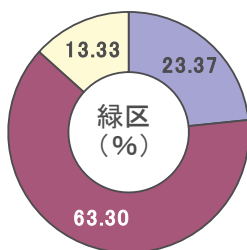
### <年齢区分別人口>

平成30年(2018年)9月末

人口比



■高齢化率(65歳以上) ■生産年齢人口比率(15~64歳) □年少人口比率(0~14歳)



75歳~	3,347人
65~74歳	3,585人
15~64歳	22,000人
6~14歳	2,883人
0~5歳	1,745人
合計	33,560人

75歳~	20,959人
65~74歳	21,270人
15~64歳	114,390人
6~14歳	15,061人
0~5歳	9,037人
合計	180,717人

75歳~	454,366人
65~74歳	452,709人
15~64歳	2,374,255人
6~14歳	285,140人
0~5歳	177,762人
合計	3,744,232人

### 地区別計画推進委員会の開催状況

#### 第1回

平成30年7月12日  
18:30~20:30  
中山町自治会館

- 【みんなで地域を考える会と合同】
- ・防犯・防災キャッチフレーズの取組について
  - ・“地域ふれあいフェスティバル”について
  - ・『次世代につながる、まちづくり』について意見交換

#### 第2回

平成31年2月20日  
10:00~12:00  
中山町自治会館

- ・防犯・防災キャッチフレーズの取組報告
- ・新治中部の子どもたちの現状について意見交換

通信No.17 発行

緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」平成30年度地区別計画推進状況



# 新治中部地区

台村町、森の台、寺山町、中山町、中山1〜4丁目、上山で構成



## 防犯・防災に強い、次世代につながるまちをめざして！

新治中部地区では、第3期計画で大きく2つの目標を掲げて、まちづくりに取り組んでいます。

### 「第6回 防犯・防災キャッチフレーズ」& 「第20回新治中部ふれあいフェスティバル」

今年も  
最優秀作品は  
ポスターに！



地域の防犯・防災意識を高めしていくため、平成25年度から地域の小学5年生・中学1年生を対象に“合言葉”となるような標語を募集しています。

6回目となる今年も計553件もの標語が集まり、最優秀4作品を含む45作品が入選しました。

次世代を担う子ども達の「健全育成」や「ふるさとづくり」を目指し、20年に渡り続けてきた「地域ふれあいフェスティバル」。昨年は残念ながら台風で中止となってしまいましたが、今年度は秋晴れのもと盛大に開催され、その中でキャッチフレーズの表彰式も行われました。



各校の表彰者との記念撮影。多くの児童・生徒が参加してくれました。(左から、中山中・中山小・上山小、森の台小)

### このまちを次世代につなぐ。子どもたちのために。

今年度は、「子どもたちに新治中部にもっと興味や愛着を持ってほしい。それが将来の新治中部の活力につながる」というテーマで、地域による「見守り活動」や「居場所づくり」の現状や課題、これからについて議論を深めました。

地域全体で子どもたちの健やかな育ちを見守っていくために、子ども自身や親世代など、もっと多くの声を集めていく取組を検討しています。



地区別計画推進委員会の様子

## 新治中部地区別計画推進委員会



## 平成30年度 みんなで地域を考える会 【新治中部地区連合自治会】

平成30年7月12日（木）19:00～20:45

場所：中山町自治会館

参加者：75名（うち行政関係者21名）

### 【テーマ】

**次世代につながるまちづくり**

※地区別計画推進委員会との合同開催

### 基調提起 相原連合自治会長

子どもたちと地域との関わりはより活発に行われてよいと思う。そして子どもたちに新治中部にもっと興味や愛着を持ってほしい。それが将来の新治中部の活力につながると思っている。

地域による子どもたちの「見守り活動」は継続して行っているが、「居場所づくり」も進めていくことで、地域や大人が子どもを育てるまち、新治中部の魅力につながるのではないかな。ぜひ色々な意見を出し合って欲しい。



### 1グループ（上山町）

#### 今までに取り組んだ事

①自治会【各種の行事】、②地域【パトロールでの声かけ・スクールガード】、③学校・行政【子どもと施設との交流】、④個人【地域での声かけ】

#### これから取り組んでいきたいこと

①危険箇所（犯罪があった、見通し悪いなど）のハザードマップを作って地域で共有する。②今日のような会合に子どもが参加し、挨拶から一歩踏み込んで顔見知りになる。③学校やPTAではポスターや会報などで挨拶活動を広める支援をしてもらう。



### 2グループ（寺山町）

#### 今までに取り組んだ事

①各種の行事（夏祭り（神輿）、そうめん流し、書初めなど）、②地域の活動（境内の清掃活動、学園隊の見守り、町内パトロールなど）。

#### これから取り組んでいきたいこと

現在多く住んでいる40代が高齢化した時、サポートするのは今の中高生なので、彼らが地域に参加する取組を。①中高生が参加して防災に強いまちづくりをする、②小中学生のスポーツ活動を活発にする、③中高生への自治会からのPR（祭りへの参加など）を積極的にする、④防犯カメラの設置を増やす、など。



### 3グループ（中山町①）

#### 今までに取り組んだ事

①連合【花いっぱい運動】、②地域と学校【キッズファーム、郷土資料館の昔遊び、防犯教室】、③地域行事【サマーキャンプ、盆踊りの太鼓】など。

**これから取り組んでいきたいこと**

①自ら挨拶をする、地域を愛するなど、大人・保護者がまず取り組む。  
 ②囲碁や将棋、料理づくりなど、地域のイベントに子どもを参加させ、そこでの交流を地域での挨拶につなげていく。③地域の為に活動する「地域活動クラブ」を学校に作って欲しい。④防災訓練に小中学生が参加するように、保護者は配慮を。⑤わんわんパトロールは学校下校時に実施する。

**4グループ (中山町②)****今までに取り組んだ事**

基本的に3グループと同じ。他には車いす体験、夜間パトロール、「ふれあいの目」での交流、赤ちゃん訪問など。

**これから取り組んでいきたいこと**

①【多世代交流】中山町まつりでの花かごの伝統継承、オレンジカフェの子どもの参加、子どもたちと合同で朝の清掃活動など。②【交流の場づくり】ハイキングの実施など。③【子どもが活動できる場】地区によっては子どもの遊び場が少ないため、充実を。

**5グループ (台村・森の台&3集合住宅)****今までに取り組んだ事**

①通学の見守り、②花いっぱい運動、③サロンの実施④夏祭りなど。

**これから取り組んでいきたいこと**

①挨拶と防犯意識との融合(挨拶はする&見知らぬ人にはついていかない) ②既存の様々な活動の周知。③子どもたちを外に出す仕掛け(イベント) ④イベントの担い手不足を複数自治会の合同開催で解消するなど。

子どもは故郷を選べない。だからこそ子どもにとって楽しい故郷とするのが親世代の務めだと思う。

**アンケートの意見**

- ・参加者皆様の熱い想いを感じました。
- ・グループワークだったので、意見交換しやすかったです。
- ・今日話し合いをいかに実践に結びつけるかが重要と考えます。地域に帰り考え、推進できることから取り組んでいきたいと思えます。
- ・取り組んだ事は共通した内容でもある為、サンプリングして書き出しおき、これから取り組んでいきたい事を話し合う時間を長くできるかと思えます。

当日の会場の様子



発言内容は紙面の都合上、趣旨を踏まえて一部編集を行っています。





新治中部地区別計画推進委員会

平成31年3月発行 第3期 No.5 (通算No.17)

## 新治中部地区別計画推進委員会通信



# 次世代につながるまちにしたい

## 新治中部の子どもたちの現状（いま）を知ろう

### にいほるちゅうぶ → ふるさと

2月20日（水）に、「第2回新治中部地区別計画推進委員会」を開催しました。

平成30年度の取組を振り返るとともに、地区別計画に基づき、「次世代につながるまちにしたい～新治中部の子どもたちの現状（いま）を知ろう～」をテーマに、小学校・中学校の校長先生に最近の子どもたちの状況を教えていただきながら、子どもたちに、“ふるさと・新治中部”に愛着をもってもらえるために、進めていくべき方向性について話し合いました。その一部をご紹介します。

新治中部地区（台村町、森の台、寺山町、中山町、中山1～4丁目、上山）には、現在約34,000人が住んでいて、うち15歳未満の子どもは約4,700人。小さな子どもから親世代、高齢者まで、この街に愛着を持って住み続けていただくには、「人材を育てる」街づくりをしていかないとけない。これまで話し合ってきたことを実践につないでいくために何からできるか。今日は、校長先生に子どもや親世代の現状を教えてくださいながら、次世代につながるまちづくりに必要なことを考えていきたい。



▲相原委員長

最近の子どもたちの傾向や気になること、これからの育ちについて  
小・中学校の校長先生から→（たくさんお話いただいた一部です）

- 授業も多く帰宅時間が以前と比べて遅くなっている。人間関係のスキルが磨かれる「子どもたちだけの時間」が少なくなってきたことも気がかり。
- 自然の中で遊ぶ・過ごす体験はとても重要。「けがと弁当は自分持ち」という、最低限の大人の見守りの中で、子どもたちの創造性を育む自然を活かした遊び場・居場所がこの地域でももっとつくれたら素敵ではないか。
- 子どもたちへの意識調査によると、自分で決めたことは最後まで頑張っていると認識している子が多い一方で、自分が人の役に立つ、自分が好きといった自尊心が低い傾向も伺える。
- 学校としても、最後まで子どもの話を聞く努力や自己決定している時間を待つてあげること、「失敗」も大事にしていくことを、保護者とも共有していきたい。
- 子どもが失敗や多少間違っても、まるごとそれで良い、次は頑張ろう、といってくれる大人がいる居場所、「心の居場所」、子どもたちの自尊心が育まれるような場所が地域にあったら。
- 小学校になっても、赤ちゃん会のような、親子で一緒に楽しめる（折り紙や将棋など）、誰でも参加できるような場があるといい。

▲中山小学校  
永野校長先生▲上山小学校  
生中校長先生▲森の台小学校  
酒井校長先生



最近の子どもたちの傾向や気になること、これからの育ちについて中学校の校長先生から→



▲中山中学校 二階堂校長先生

中学生になると自尊欲求や自己実現欲求が生まれ、自分に自信が持ちにくくなる世代になってくる。

・中学生が部活動や塾などの習い事に出かけたりして、家族の時間や家族とのかかわり、地域の中でのかかわりも変わってくる。

・外国につながるご家庭も増えてきている。中学校には国際教室があるが、サポートを充実させていきたい。

・部活動の活動時間も短くなる方向に変わってきている。今後、家庭や地域にいる時間が長くなっていく子どもが増えてくると思う。そういった子どもたちの地域でのかかわりの場があると良い。

・自分で考え判断し、他とコミュニケーションをとって行動（実行）する「主体的な力」が身につくような指導に努めている。中学生が主体的に実行していく力をつけていけたら、将来的に地域の力にもつながっていく。

委員のみなさんから→



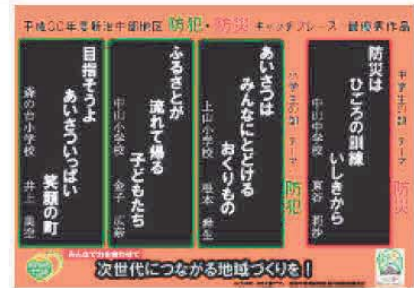
・夏休みや春休みなど、地域のサロンなど、子どもたちにも来てもらえたら嬉しい場もある。学校でも一緒に周知できたらいい。  
 ・共働き世帯も増えたり、時代が変わる中で、**地域で子どもを見守り、育てていくためには、支える側だけでなく、当事者の子ども・親世代・保護者の声を集めて、保護者の生活感や子どもの思いを受け止めていくことが必要。**その意見を横の連携で実現していけたらいい。

「できていること」と、「できたらいいな」はたくさんあります。子どもたちが本当に必要としている支援を届けるために→



来年度は、新治中部の子どもたち、親世代の声を集めていきます！

子どもたちやその親世代にも地域の安全・安心に関心をもってもらえる機会をつくれないうという思いから始まった「防犯・防災キャッチフレーズ」の取組も今年度で6回目。地区内の小学5年生、中学1年生から553件の応募があり、45作品が入賞。昨年10月28日に開催された「第20回新治中部ふれあいフェスティバル」で表彰式が行われました。ご応募・ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。



最優秀作品ポスター▲



表彰式記念写真（学校別）▲

「みどりのわ・ささえ愛プラン」は、誰もが身近な地域で安心して暮らし続けられる緑区を目指していくために、区民、事業所、地域ケアプラザ、社会福祉協議会、区役所などが協働で取り組む計画です。緑区では11連合自治会ごとに「地区別計画」を策定・推進し、身近な地域の課題解決に向けて取り組んでいます。詳しくHPや右記PR動画等からご覧ください。

～第3期新治中部地区別計画 2つの目標～

- ① 防犯・防災に強い、安心できるまちにしたい
- ② 次世代につながるまちにしたい



＜連絡先＞新治中部地区別計画推進委員会事務局 緑区福祉保健課 TEL：930-2305